

# 市政を問う 一般質問要旨

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



**教員負担軽減とICT教育環境**  
平柳田中生誕150年記念展

小・中学校教員の負担軽減とICT教育環境の整備状況を問う

質問 ①学校の働き方改革について、今後の取り組み内容は、

②今後のICT教育環境整備推進の方向性は、国のGIGAスクール構想と合致しているか。

教育長 ①小平市立学校における働き方改革推進プランを推進し、教員の負担軽減を図るほか、小・中学校に東京都などの取り組みを情報提供するなど、改革の推進を一層促していく。

②GIGAスクール構想の実現に向けては、短期間で数多くの端末を配備するほか、指導者の育成やその後の維持管理体制

など課題が多い。計画的な整備推進が必要と認識しているが、今後、国や都の動向を注視し財政状況等も踏まえながら、必要な対応を図れるよう努めていく。

仮称平柳田中生誕150年記念展を60周年事業として開催しよう

質問 ①記念展を市制施行60周年記念事業で開催すべきでは、

②令和4年の開催に向け、適切な予算措置を講ずるべきでは、

市長 ①令和4年度は、生誕150周年を記念する特別展を市制施行60周年事業として開催することも視野に入れ、検討していく。

②事業内容の検討の中で必要な予算措置等を検討していく。



**あかすの踏切解消を進めよう**  
新型コロナウイルス対策

あかすの踏切解消を官民・議会が力を合わせ進めよう

質問 ①都道で鉄道事業者の土地のため、改善は都、交通管理者、事業者に対応を依頼するしかない現状をいかに克服するか。

②田無から花小金井間の連続立体化の検討に、小平第1号踏切区間までを加えるべきでは、

市長 ①これまでも都や鉄道事業者に対策を要望してきた。今後も国等の動向を注視し、関係機関に粘り強く働きかけていく。

②現段階では難しい。都の踏切対策基本方針改定の際には、小平駅周辺の都市基盤整備の進捗状況等を踏まえ、検討対象と

して要望できるか研究していく。新型コロナウイルス対策に市の対策行動計画等を適用できるか

質問 ①新型インフルエンザ等対策行動計画等を適用できるか。

②発症時の対応など、情報発信の体制はどうか。

市長 ①計画に定めた感染症には当たらないため、読みかえての適用ではないが、同等の感染症として準用して対応している。

②ホームページで手洗いやマスク等による予防等の情報を掲載したほか、ツイッターで同様の注意喚起を行った。多摩小平保健所等と情報連携を図りながら、最新の情報を掲載している。



**防災行政無線子局の積極的活用**  
市道、通学路の安全について

防災行政無線子局の積極的な活用方法の推進について

質問 ①令和元年の台風19号に関する自主避難所設置は、防災行政無線で発信されたか。

②防災行政無線を使用した特殊詐欺防止の啓発や高齢者の徘徊情報等の放送はできないか。

市長 ①避難指示等の発令は行っておらず、自主的な避難希望者を受け入れる自主避難所の開設であったため発信していない。

②運用基準では、災害その他緊急を要する事態発生時等としている。今後も市民の生命等に被害が及ぶと危惧される際には状況等確認し対応していく。

質問 ①一般市道のうち通学路のガードレール設置率は、

②通学路である緑川通りの北側歩道にはガードレールがあるが南側歩道にはない理由は、

市長 ①平成31年4月1日現在、防護柵の設置は約25%である。

②緑川通り北側付近は、保育園や小学校等が立地しており安全上の配慮から横断抑止柵を設置したと考えている。有効幅員が狭い南側歩道は、電柱もあり、設置するとさらに有効幅員を狭め歩行者の通行等に支障を来すことから設置していない。



**健康ポイント／オリンピック・パラリンピックをレガシーに**

こだいら健康ポイント事業をさらに発展させるべき

質問 ①平成30年度と令和元年度の本事業の男女別参加者数は、

②スマートフォンによる参加を導くべきと考えるが見解は、

③新たにポイント対象をふやすべきと考えるが見解は、

市長 ①平成30年度は男性59人、女性154人で、元年度は男性98人、女性243人である。

②歩数測定の高精度性を考慮し活動量計を用いる方法で事業を実施している。効果等の検証を行う中で併用を検討していく。

③引き続き、新たな事業を対象とすることを検討していく。



**魅力ある地域づくりの産業活性化とは／使用料、手数料の見直し**

魅力ある地域づくりとしての産業活性化とは

質問 ①商店街チャレンジ戦略支援事業で、買い物弱者対策の充実に向けた活用の見解は、

②都市農地保全支援プロジェクトの鎌倉公園への活用は、

市長 ①買い物弱者支援事業は宅配等のサービスを実施する商店会に都が直接支援を行う事業で、市は商店会の自主性を尊重しつつ、引き続き商店街の支援事業の情報提供を行っていく。

②農業公園として整備する場合は、補助制度がある。鎌倉公園の整備の具体的検討を行う中で、補助要件と合致する場合は都の補助制度の活用を検討していく。

使用料、手数料の見直しについて方向性を問う

質問 ①見直しの検討の段階で市民意見はどうか反映されるか。

②見直しへの考えと進め方は、



**防犯対策のさらなる推進を**  
平柳田中彫刻美術館を守るために

市民を守るための防犯対策はもっと進めるべき

質問 ①元年度、通学区域に設置される16台の防犯カメラについて、設置場所の選定基準は、

②東京都の通学区域への防犯カメラ設置補助事業は3年間の事業だが、来年度、予算化していない理由は、

教育長 ①中学校の通学路を含め、一定数の児童・生徒が通行する道路で登下校時に不審者による声かけや事件に巻き込まれる可能性が高い場所を学校関係者に挙げてもらい選定している。

②平成27年度から計11台の防犯カメラを設置し一定の効果を上げている。さらなる設置は通学路合同点検の実施状況等を踏まえ、必要性を見きわめていく。

平柳田中彫刻美術館記念館をいつまでも守るために

質問 ①記念館のこれまでの耐震対策と今後の耐震対策は、

市長 ①作品や家具の転倒、落下防止などの安全対策を行っている。今後は、現在実施中の耐震診断の結果を踏まえて、適切な安全面の対策を検討していく。



北側歩道に横断抑止柵が設置されている緑川通り